

なんでも
ええこと
ないやん!

大阪の 統一国保

今年大阪府で国民健康保険が統一され大阪のどこにいても「同一世帯所得・同一加入者人数」であれば同じ保険料となりました。大阪府は「受益と負担が公平になる」といっていますがメリットがあるのでしょうか？

デメリットが いっぱい

大阪、高すぎるんちゃう

デメリット 1

保険料が
めちゃくちゃ高い



世帯所得200万円の40歳夫婦と中学生、小学生の4人家族の保険料(年額)

大阪府統一保険料	(円)
大阪府統一保険料	456,123
尼崎市	410,609
岡山市	397,606
姫路市	374,254
札幌市	372,780
和歌山市	368,571
函館市	362,935
京都市	354,451
福岡市	342,298
千葉市	336,081

※自動計算される独自減免がない大都市の国保料を大阪社協が計算

デメリット 2

国保会計が黒字でも
保険料を
下げられない

大阪府内の多くの自治体の国保会計は黒字で基金をたくさん積み上げているのに保険料を引き下げることができません。

2022年度の決算+基金残高の一人当金額が5万円を超えている自治体：守口市・貝塚市・大東市・羽曳野市・藤井寺市・東大阪市・阪南市・島本町・能勢町・田尻町

デメリット 3

手厚い自治体独自の
保険料減免制度が廃止

低所得者減免・ひとり親減免・障がい者減免など自治体の努力と市民の運動で作上げた様々な減免制度が統一を理由に廃止されました。

デメリット 4

一部負担金低所得者
減免制度を廃止

東大阪市、八尾市、柏原市などは低所得者に対する一部負担金(医療機関で支払う医療費)減免制度を統一を理由に廃止しました。

デメリット 5

いいことしようとすると
保険料が上がる

もし、保険料の手厚い減免や内容のすぐれた健診制度をしようとするとすべて保険料計算に含まれてしまうため保険料が上がる

わたしたちは払える保険料にするために「統一の廃止」を求めて運動をしています。

大阪社会保障推進協議会

メール osakasha@poppy.ocn.ne.jp HP 「大阪社保協」で検索を